



ASTON MARTIN

アストンマーティン、V8 ヴァンテージ・ロードスター発表

ロサンゼルス発 アストンマーティンは 2006 年 11 月 29 日(水曜日)、「2006 ロサンゼルス・オートショー」において、今年最もデビューが待望されていたコンバーティブルモデル「V8 ヴァンテージ・ロードスター」を発表します。

アストンマーティンのウルリッヒ・ベツ会長兼最高経営責任者(CEO)は次のように述べています。「V8 ヴァンテージ・ロードスターは純粋なスポーツカーです。ドライバーの五感を研ぎ澄まし、ドラマティックでスリリングなドライビング体験を提供してくれる車です。ヴァンテージ・ロードスターはオープンエアードライビングという何物にも変えがたい興奮をもたらしてくれます。優れたエンジニアリング、革新的な技術力、完成度の高さを統合することによって、ヴァンテージ・ロードスターのドライビング体験は間違いなく忘れがたい体験となるはずです」

完璧なプロポーションと意図的に低くしたスタンスが相まって、ヴァンテージ・ロードスターはあらゆる点において先進性が強調されていながらも、アストンマーティンの持つ伝統的なデザインの特徴も取り入れています。その流麗なラインには、伝統的なクラフトマンシップと印象的な 21 世紀のスタイルが融合しています。さらに、インテリアには最高品質の素材が使われ、それを職人が手作業で仕上げています。

ヴァンテージ・ロードスターは、アストンマーティンの他のモデルと同様に、英国ワーウィックシャー州ゲイドンにあるアストンマーティン本社で製造される予定です。現在、アストンマーティンのラインナップには、フラッグシップモデルであるヴァンキッシュ S、エレガントな DB9 クーペと DB9 ヴォランテ、そして俊敏な V8 ヴァンテージ クーペが揃っています。

デザイン

ヴァンテージ・ロードスターのエレガントなデザインには一切、妥協はありません。エクス

テリアにもインテリアにも、ブランドの特徴でもある細部への注意が払われ、1本のラインで構成する流線型のフォルムがオープンスポーツカーのマインドを最もピュアに具現化しています。

ヴァンテージ・ロードスターは、クラフトマンシップとテクノロジーの融合という、アストンマーティンの進化を表現しています。縫い目の美しさを誇る、職人による手縫いの本革シートから、手作業で仕上げられたボディー、そしてドイツのケルンにある専用のハイテク施設で一台一台、手作業で組み立てられた最先端 V8 エンジンにいたるまで、あらゆる点においてヴァンテージ・ロードスターはエクスクルーシブで先進的そしてきわめて独自性を持つ、まさに万人憧れのスポーツカーです。

3層構成のファブリック製フードを閉じた時は、引き締まった野心的な外見になります。このフードを開けた時には、整流として機能しながらもインテリアとエクステリアを巧みにつなげる本革製のエアロハンプの巧みな演出により、フロントからリアにかけてエレガントで滑らかな流れるようなラインが創り出されます。コンバーティブルモデルであっても、ロードスターは高い賞賛を獲得しているヴァンテージ・クーペのデザインを受け継いでいます。時速 30 マイル(約 50 キロ)以下であれば、センターコンソールに配されたボタンをワンブッシュするだけで、リアのトノカバーの下にコンパクトに収納されたフードが、わずか 18 秒で開閉します。手によるわずらわしい開閉作業は一切ありません。

ヴァンテージ・ロードスターには、様々な種類のレザー、現代的なファブリック、そしてアルミニウムなどが想像力溢れる組合せで提供され、ボディーとトリムは豊富なカラーヴァリエーションから選択することができます。

性能

ヴァンテージ・ロードスターの開発プロジェクトは、2005年に登場したV8ヴァンテージ・クーペと並行でスタートし、アストンマーティン独自の結合形成したアルミニウム VH(バーティカル・ホリゾンタル)構造を共有しています。このVH構造は最近のアストンマーティンモデル全体を貫くバックボーンとなっています。このボディー構造に軽量合金、マグネシウム、複合素材などの先端素材を組み合わせることにより、ロードスターは軽量化と高剛性の両立を実現した車となりました。

ドライバーと乗員の着座位置は車の重心近くに置かれ、しかも低い位置に設定されているため、レーシングカーでしか味わうことのできない、車がドライバーの意思に反応する

特別な感覚を体感することができます。ヴァンテージ・ロードスターのドライバーは、スポーツカー独自の、車との“対話”が可能です。

コンバーティブルルーフのためにメカニズムが追加され、ボディー剛性が強化されたにも関わらず、アストンマーティンのエンジニアリングチームは、V8 ヴァンテージ・クーペの持つ俊敏性とスポーツカーとしての特性を損なわないように、ヴァンテージ・ロードスターの重量増加を最小限に抑えました。全長わずか 4380mm(172.5 インチ)のヴァンテージ・ロードスターは、アストンマーティンのラインナップの中で最もコンパクトであるだけでなく、クラス最軽量の車でもあります。

きめ細やかな開発とエンジニアリングが施された結果、ヴァンテージ・ロードスターは兄弟車であるクーペの性能に引けをとらない数値を発揮します。加速性能は 0-100km/h (62mph) が 5.0 秒(0-60 mph は 4.9 秒)、最高速度は 280km/h (175 mph) です。

ヴァンテージ・ロードスターには、発売当初から2種類のトランスミッションが設定されます。標準装備されるのは、スティックギアレバーで操作する従来からのタイプで、クイックなシフトタイミングを誇るグラッツィアーノ社製 6 速マニュアルギアボックスです。そのギアレシオは、V8 エンジンの特性と完璧にマッチするよう設定されています。さらに、アストンマーティンが今回、新たに開発した「スポーツシフト」オートメイトド・マニュアル・トランスミッションも用意されます。これは指先で“パドル”を操作することにより、いっそう正確で非常に素早いギアシフトを実現しています。

V8 ヴァンテージ・ロードスターの納車開始は、2007 年の第 2 四半期になる予定で、販売価格については後日正式発表いたします。

アストンマーティン V8 ヴァンテージ・ロードスター 主要諸元

ボディー

- ・ 2シート&2ドアボディー、ソフトカバーコンバーティブルトップ及びヒートドリアガラススクリーン付き
- ・ 接合成形アルミ構造。アルミ合金、スチール、複合素材、マグネシウム合金製ボディー
- ・ 押出成形アルミ・サイドインパクトバー、一体型ロールオーバーバー
- ・ ハロゲンプロジェクターヘッドランプ、LEDリアランプ

エンジン

- ・ アストンマーティン製オ - ルアロイ QOHC32 バルブ、4.3リッターV8
- ・ 可変吸気カムシャフトタイミング
- ・ ドライサンプ潤滑システム
- ・ 触媒付きステンレススチール排気システム、バイパスバルブ付き
- ・ フロントミッドマウントエンジン、後輪駆動

トランスミッション

- ・ リアミッドマウント6速マニュアルギアボックス。
- ・ オプションで「スポーツシフト」オートメイトッド・マニュアル・トランスミッションの装着も可能
- ・ カーボンファイバープロペラシャフト付きアロイトルクチューブ
- ・ リミテッドスリップデフ
- ・ 最終減速比 3.909:1

ステアリング

- ・ ラックアンドピニオン式パワーシフトステアリング
- ・ ロックツーロック 3.0回転
- ・ ステアリングコラムにはリーチとチルトの調整機能付き

ホイール&タイヤ

- ・ 標準装着: 18”アロイホイール、10本スポーク、前輪 8.5Jx18”、後輪 9.5Jx18”ブリジストン“ポテンザ”タイヤ、前輪 235/45 ZR18、後輪 275/40 ZR18
- ・ オプション: 19”アロイホイール、7本スポーク、前輪 8.5Jx19”、後輪 9.5Jx19”ブリジ

ストン“ポテンザ”タイヤ、前輪 235/40 ZR19、後輪 275/35 ZR18

- ・ オプション:ピレーリ“P-ゼロ・コルサ”スポーツタイヤ、前輪 245/40 ZR19、後輪 285/35 ZR19

サスペンション

- ・ フロント:アルミ製独立懸架ダブルウィッシュボーン、アンチダイブジオメトリー、アルミ製モノチューブコイルダンパー、アンチロールバー
- ・ リア:アルミ製独立懸架ダブルウィッシュボーン、ロンギチューディナルコントロールアーム、アルミ製モノチューブコイルダンパー、アンチロールバー

ブレーキ

- ・ ラジアルマウント、4ピストンモノブロックキャリパー
- ・ ダイナミックスタビリティコントロール(DSC)
- ・ トラクションコントロール
- ・ アンチロックブレーキシステム(ABS)
- ・ 制動力電子配分装置(EBD)
- ・ 緊急ブレーキアシスト装置(EBA)
- ・ ポジティブトルク制御装置

前輪:ベンチレーテッド、スリット付きスチールディスク、径 355mm

後輪:ベンチレーテッド、スリット付きスチールディスク、径 330mm

インテリア

- ・ フルグレインレザーインテリア
- ・ ガンメタル(インストルメントパネル)
- ・ グラファイト・インテリアフィッティング
- ・ 電動調整シート
- ・ オートエアコン
- ・ ヒーテッドリアスクリーン
- ・ リバーセンサー
- ・ バッテリー切断スイッチ(BDS)
- ・ トリップコンピューター
- ・ 2段階式・運転席及び助手席エアバッグ
- ・ サイドエアバッグ

- ・ アラーム、イモビライザー

オーディオシステム

- ・ 160W アストンマーティンオーディオシステム、6 連奏 CD オートチェンジャー付き

オプション

- ・ “スポーツシフト”付きオートメティッド・マニュアル・トランスミッション
- ・ キセノン(HID)ヘッドランプ、パワーウォッシュ付き
- ・ ブライト仕上げのグリル
- ・ ピアノブラックのインパネトリム
- ・ ブレーキキャリパー・フィニッシュ(ブラック、レッド、シルバー)
- ・ ヒーテッドシート
- ・ クルーズコントロール
- ・ 助手席の高さ調整機能*1
- ・ シートメモリ(3 ポジション)
- ・ バッテリーコンディショナー
- ・ 電動格納式ドアミラー
- ・ 自動防眩リアビューミラー*1
- ・ アラームのグレードアップ(ボルメトリック&チルトセンサー)
- ・ スモーカーパック
- ・ スポーツタイヤ
- ・ 19”アロイホイール、7 本スポーク、シルバーフィニッシュ
- ・ 19”アロイホイール、7 本スポーク、アンスラサイトフィニッシュ
- ・ 前輪ストーンガード
- ・ パーソナル仕様のシルブラーク
- ・ 傘および傘ホルダー
- ・ 700W アストンマーティン・プレミアムオーディオシステム、ドルビープロロジック II 搭載
- ・ ウインドデフレクター

全長	4380mm	燃料タンク容量	80 リットル
全幅	1865mm (ドアミラーを除く) 2025mm (ドアミラーを含む)	CO2 排出量*3	358 g/km
全高	1265mm	最大出力	283kW (380 bhp) @ 7000 rpm.
重量	1710kg	最大トルク	410 Nm (302 lb.ft) @ 5000 rpm

ホイールベース	2600mm	加速性能	0-60mph – 4.9 秒 0-100km/h – 5.0 秒
トランク容量	144 リットル	最高速度	175mph (280 km/h)

*1 一部市場では設定なし

